

平成30年度第2回東京都介護給付適正化推進研修会 (H31/2/19開催) アンケート結果

1 研修会概要

日時・場所：平成31年2月19日（火曜日） 午後1時30分から4時50分まで
立川商工会議所 第6会議室

内容：① 縦覧点検・医療情報との突合について（東京都）
② 縦覧点検・医療情報との突合に関する事例発表（新宿区、八王子市）
③ 区市町村によるグループディスカッション
テーマ：縦覧点検・医療情報との突合について

2 参加者数及びアンケート回収状況

参加者数：35区市町村51名（13区20市1町1村）
アンケート提出：49件（回収率96.1%）

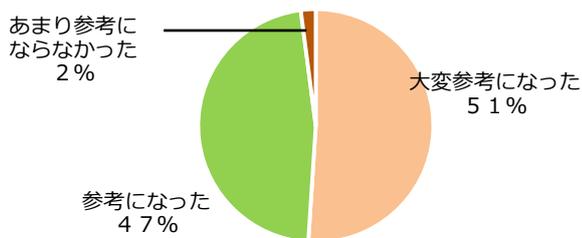
3 アンケート結果

(1) 研修の開催時期等について

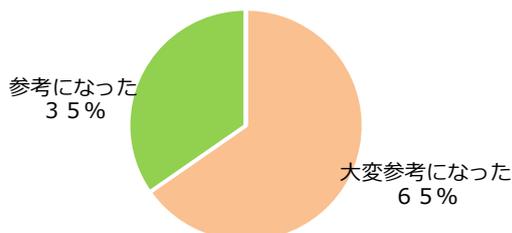
	適切	不適切	特になし	未回答
開催時間(n=49)	41	0	7	1
開催場所(n=49)	36	2	11	0

(2) 研修内容について

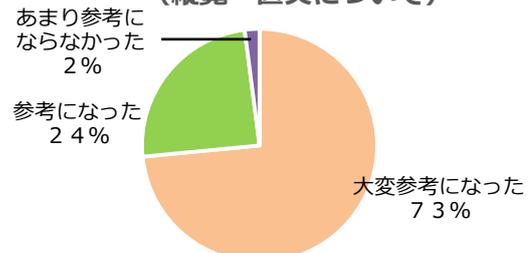
都説明（縦覧・医突について）



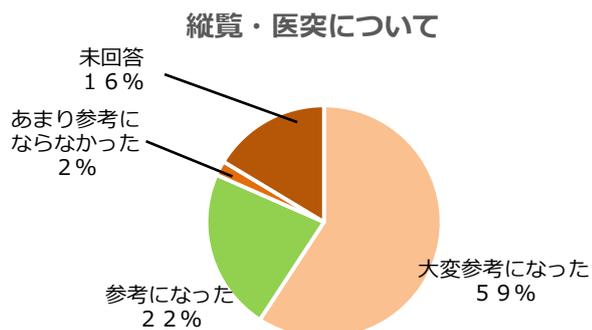
新宿区事例発表 （縦覧・医突について）



八王子市事例発表 （縦覧・医突について）



(3) グループディスカッションについて



(4) 研修会についての意見・感想、今後とり上げてほしい内容

<東京都からの説明>

- ・着目するポイントが整理されていて分かりやすかった。
- ・共同試行実施を受講したが、理解が至らなかった部分もあったので、よい振り返りの機会になった。
- ・点検のポイントをまとめた資料になっているので、標準的なマニュアルとして有効である。

<新宿区・八王子市からの事例発表>

- 全般
 - ・取り組みやすい項目を挙げていただいたのが参考となった。
 - ・帳票が配信されてから過誤に至るまでの作業内容がよく整理されており、参考となった。
- 新宿区
 - ・実際に使用している通知文等が参考となった。
 - ・点検担当（非常勤職員）がリスト点検をしている体制が参考になった。当区では適正化の専任職員はいないので、今後に向けて考えていきたい。
- 八王子市
 - ・マニュアル化が上手く行われているように感じた。
 - ・実施件数に対して、どの程度過誤になったのか、数値で見えるような資料になっており、参考となった。

<グループディスカッション>

- ・各保険者が様々な方法で行っている縦覧点検・医療情報との突合に関して、情報交換ができて参考になったという意見が多数

<研修会全般>

- ・保険者の事例発表の時間を長くとり、より多くの事例を紹介して欲しいとの意見が、複数の参加者からあった。
- ・今後の研修会の内容として、給付費通知、給付実績の活用を取り上げて欲しいとの意見が複数の参加者からあった。

<縦覧点検・医療情報との突合を進めるうえでの課題>

- 取組を継続するうえでの課題として、以下のような点が挙げられた。
 - ・軌道に乗るまでの多業務との兼ね合い
 - ・ルーティンワークに落とし込めないと、「できるときに、できる範囲で」になってしまう。
 - ・人事異動に伴う点検技術の継続
- 上記の課題を踏まえた対応策として、以下のような点が挙げられた。
 - ・係全体で対応できるような工夫（係内での役割分担、点検に不慣れな職員への支援など）
 - ・点検のマニュアル化
 - ・チェックすべき項目の重点化、事業所に照会する基準の明確化

<縦覧点検・医療情報との突合について都・国保連に求める支援策>

- 研修等の実施やマニュアル類の整備を求める意見が多数、帳票の配信方法や内容に関する意見もあった。
 - ・保険者だけでは点検技術の継続が難しい面もあり、基礎的な知識が学習できる研修や、共同試行実施を継続して実施してほしい。
 - ・「月途中要介護状態変更受給者一覧表」など、今回の研修で取り上げられなかった帳票の見方、確認方法を取り上げてほしい
 - ・マニュアル・テキスト類を整備してほしい。
 - ・国保連からのメールの件名や、ファイル名、フォルダ名が分かりにくく、必要な帳票をすぐ探すことができないので改善してほしい。
 - ・ファイルのダウンロード方法（一括でダウンロードできるとよい）や、帳票のレイアウトを改善してほしい。